

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び  
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成  
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築  
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成  
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

学校名【 尾道市立御調中学校 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	全校生徒 保護者・地域の方
3 展開の形式	( ) 教科で実施 教科名 ( ) ( O ) 教科以外で実施 ( 行事 )
4 目標 (ねらい)	オリンピックの講演会によるオリンピック・パラリンピック教育を実施することを通して、オリンピック・パラリンピックムーブメントを推進し、生徒のスポーツに対する学びを深める。
5 取組内容	講師として元バレーボール全日本代表選手山本隆弘氏を迎え、「夢、目標に向かって～挑戦することの大切さ～」と題し、山本氏の生い立ちからプロ選手として活躍するまでの経緯や体験を通して、目標を持つこと、挑戦することの大切さについて講話を行った。 事前指導として、講演前日のホームルーム時に講師の紹介をおこなうことで学習意欲を高め、事後指導として、講演終了後に感想文・アンケートを書かせた。
6 主な成果	テレビや雑誌などで間接的に学ぶのではなく、実際にオリンピックから話を聞くことで、アスリートたちがどのような経験や体験を通して現在までに至っているのかを学ぶことができた。また、生い立ちや、競技を始めた経緯など、スポーツ選手として完成され、活躍している場面や成功体験だけをクローズアップするのではなく、生まれた時、小学生時代から大学生、プロ選手として、挫折やその時の心境などの体験談を聞くことで、講話を聞く生徒たちにとって、生活環境やその時の心境など、自分たちにもある日常からのスタートだったことを身近に感じることができた。この講話を通して、オリンピック等に関わる選手としての目標や、それを観戦する立場としての意欲や関心が身に付いた。 【アンケート結果(全校)】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピックに対する興味が深まった・・・52%</li> <li>・考え方や生き方の参考となった・・・74%</li> <li>・このような講演をまた聴きたい・・・78%</li> </ul>

7 実践において工夫した点(事業の特色)	全校生徒のみならず、保護者、地域の方に公開し、御調町にとってもオリンピック・パラリンピックムーブメントが推進されるようにした。
8 主な課題等	事前指導において、より時間をかけて学んでから講演会に臨む必要があった。オリンピックやパラリンピックについて学ぶことはもちろんのこと、講師の活躍やプレーなど、講演にあたって興味や関心、知識を持った上で参加することが望ましかった。
9 来年度以降の実践予定	本校においては、来年度以降もこの事業を活用し、オリンピック・パラリンピック教育をより深めていく。また、講師の先生を招くことで、生徒のスポーツへの関心を高め、身近に感じられるようにすることで、生涯を通じたスポーツへの関わりについて考え、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックにつなげていく。